

平成 29 年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「グカサワン村 IT 職業訓練センター設立計画」 供与式の実施

令和 3 年 9 月 16 日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「グカサワン村 IT 職業訓練センター設立計画」（贈与金額：88,078 米ドル（9,688,580 円））の供与式が、アララト州グカサワン村において行われました。本式典には、福島正則駐アルメニア日本国大使、シモニャン・アララト州副知事、被供与団体であるグカサワン村行政府のヴァルダニャン村長、被供与団体のパートナーである「リーダーシップ・スクール」のモヴシシヤン代表、アハロニャン・グカサワン村立学校長、ハチャトリヤン IT 職業訓練センター長等が出席し、同センター第一期生を含む多くの青少年や保護者も参加しました。

本計画は、エレバン市近郊に位置するグカサワン村に IT 職業訓練センター設立のための建物や機材を整備することで、同村及び近隣自治体の青少年に IT 技術習得の機会を提供することを目的としています。本計画の設計・形成段階より、グカサワン村行政府と連携してきた人材育成団体「リーダーシップ・スクール」が今後も同村と共同で施設の運営に当たる予定です。

式典の冒頭、被供与団体のヴァルダニャン村長が歓迎の辞を述べつつ、出席者に本計画の概要を説明した上で、日本政府に対する感謝の言葉が伝えられました。

続いてシモニャン副知事より、本計画が地方行政機関による若者を対象とした職業訓練への取組のモデルになるとして、同様の施設が他の地域にも展開されることに期待を示しました。

福島大使より、アルメニアが人材の宝庫であることに言及し、質の高い学習機会を通じて、同センターの生徒には将来 IT 分野で活躍する可能性が広がっていると述べました。

最後にモヴシシヤン代表がプロジェクトに関わったすべての関係者に祝意を表するとともに、同センターでの研修プログラムの一部を紹介しました。

スピーチの後、福島大使は第一期生一人ひとりに学生証を授与し、建物の落成を祝うテープカットを経て、施設の内部を視察しました。



伝統的な賓客出迎えの儀式



ヴァルダニャン村長による開会の挨拶



福島大使の挨拶



モウシシヤン代表によるスピーチ



生徒への学生証授与



テープカット



教室の様子



校舎玄関に設置された ODA プレート